

社会福祉法人基督教児童福祉会愛隣園
2023年度 事業報告書

2023年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。

- 〔1〕 法人組織の強化と経営の透明性を図り、地域と利用者のニーズに対応した法人運営を効率的・効果的に行いました。
苦情解決委員会の外部起用による中立な第三者委員を活用し、利用者からの苦情及びニーズを書面での報告により適正に把握することに努め、必要に応じ面談を行い苦情解決に向けて取り組みました。
- 〔2〕 当期の事業運営につきましては、児童福祉事業は児童養護施設愛隣園（定員28名）及び、地域小規模児童養護施設の男子寮と女子寮の3棟（定員18名）の運営を行いました。
また、将来に向けた新規事業の資金作りと築53年の体育館の老朽化に伴う改築に向けた建築資金造成を行い、施設経営の安定化を図りました。
県補助事業を活用し、被虐待児等地域療育支援・連携体制構築補助事業（こころサポート）の専任職員2名（療育支援コーディネーター、心理担当）を配置し、要保護児童の療育支援と里親への支援を行いました。
新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金を活用し、継続した事業運営と園児の安心した生活環境を整え、施設内の感染防止を効果的に図ることが出来ました。
創立70周年記念事業を通して、法人及び児童福祉事業の沿革と社会的な課題及びニーズについて、社会的役割とこれからの事業展開と児童養護施設の存在意義の再確認を行い、次代を担う役職員へ継承することが出来ました。
- 〔3〕 障害福祉サービス事業においてはワークセンター愛の園（定員40名）、グループホーム男子寮と女子寮の2棟（定員9名）の運営を行いました。
相談支援事業所じょいまるの事業について、与那原町の補助金を活用し障害のある方やその家族等から相談を受けて、相談の内容に応じて福祉サービスを受けるための手続き、必要な情報提供や助言を行い、関係機関と連絡調整等をし、地域と利用者のニーズに沿った事業運営に取り組みました。
2023年度においても、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、継続して事業運営を行い利用者支援に取り組むことが出来ました。
- 〔4〕 今期の総合的な収益（経常増減差額）は65,547,158円の増収、財産状況は58,998,314円の増額となりました。純資産は54,935,472円の増額で1,317,277,329円の登記となり、事業の継続性と財務状態は安定し順調に推移しました。詳細については会計報告で報告致します。
- 〔5〕 2024年度の社会福祉充実残額は発生していない為、社会福祉充実計画は作成してません。

1. 事業運営

事業種別	2023年4月～2024年3月	定員
第1種社会福祉事業	①児童養護施設愛隣園	28名
	②地域小規模児童養護施設こひつじの家	6名
	③地域小規模児童養護施設ともしびの家	6名
	④地域小規模児童養護施設あかりの家	6名
第2種社会福祉事業	①障害福祉サービス事業ワークセンター愛の園	40名
	②障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム愛さ	5名
	③障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム美さ	4名
	④相談支援事業じょいまる	—

2. 役員・評議員の構成《2024年3月31日現在》

(1) 役員：定数理事6名以上8名以内、監事2名（理事8名、監事2名）現員10名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席（書面）
理事長	上地 武	地域福祉実情者	2022年 6月10日	3（1回）
理事	根川 清義	地域代表者	1991年10月29日	3（1回）
理事	高里 鈴代	地域福祉実情者	2005年10月29日	3（1回）
理事	島 しづ子	地域福祉実情者	2021年6月11日	2（1回）
理事	仲地 みどり	福祉事業経営識見者	2021年6月11日	3（1回）
理事	金城 正典	地域福祉実情者	2017年6月20日	3（1回）
業務執行理事	仲宗根 岩雄	愛の園施設長	2006年 4月 1日	3（1回）
理事	上江洲 肇	愛隣園施設長	2019年 6月14日	3（1回）
監事	宮里 善博	財務資格者	2017年6月20日	2（1回）
監事	島袋 裕美	福祉事業経営識見者	2016年4月1日	3（1回）

(2) 評議員：定数7名以上10名以内（評議員10名）現員10名、評議員会出席監事（2名）及び理事（3名）

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
評議員	喜舎場敏子	地域代表者	2005年10月29日	1
評議員	望月 智	教会関係者	2007年10月29日	0
評議員	又吉京子	福祉経験者	2009年10月29日	1
評議員	花城静子	福祉経験者	2010年10月22日	1
評議員	保良昌徳	学識経験者	2011年10月29日	0
評議員	比嘉美恵子	福祉経験者	2013年10月29日	1
評議員	砂川麻世	学識経験者	2015年10月29日	1
評議員	田場みどり	家族代表	2017年 4月30日	1
評議員	石川健一	地域代表者	2017年 4月30日	1
評議員	國吉 富貴子	地域代表者	2021年6月11日	1
監事	宮里 善博	財務資格者	2017年6月20日	1
監事	島袋 裕美	福祉事業経営識見者	2016年4月1日	1
理事長	上地 武	地域福祉実情者	2022年 6月10日	1
業務執行理事	仲宗根 岩雄	愛の園施設長	2006年 4月 1日	1
理事	上江洲 肇	愛隣園施設長	2019年 6月14日	1

(3) 評議員選任・解任委員会（委員5名）現員5名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
委員（監事）	島袋裕美	福祉経験者	2017年2月1日	開催無し
委員（外部）	知花 豊	福祉経験者	2021年6月11日	開催無し
委員（外部）	島村 聡	学識経験者	2021年6月11日	開催無し
委員（職員）	金城幸光	養護課長（愛隣園）	2017年2月1日	開催無し
委員（職員）	桃原 学	支援課長（愛の園）	2017年2月1日	開催無し

(4) 苦情解決委員会（委員6名）

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席
第三者委員	宮国幸子	福祉経験者	2017年 4月 1日	8
第三者委員	久高 整	福祉経験者	2019年 4月 1日	8
苦情解決責任者	仲宗根岩雄	愛の園施設長	2017年 4月 1日	5
苦情解決責任者	上江洲 肇	愛隣園施設長	2017年 4月 1日	4
苦情受付担当者	桃原 学	愛の園職員	2017年 4月 1日	2
苦情受付担当者	金城 幸光	愛隣園職員	2019年 4月 1日	5

3. 理事会・評議員会及び監事監査及び評議員選任・解任委員会及び外部会計顧問の実施

(1) 理事会の開催

第1回理事会 決議の省略（書面） 2023年6月7日（水） 場所：愛隣園会議室	第1号議案	給与規程の一部改正の承認の件
	第2号議案	2022年度事業報告並びに計算書類等の承認の件
	第3号議案	新役員候補者の評議員会への提出議案の承認の件
	第4号議案	定時評議員会の召集日時、場所、議題等の決定の件
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
第2回理事会 2023年6月29日（木）	第1号議案	理事長選任の件
	第2号議案	業務執行理事の選定の件
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
第3回理事会 2023年12月8日（金） 場所：愛隣園会議室	第1号議案	経理規程の一部改正の承認の件
	第2号議案	給与規程の一部改正の承認の件
	第3号議案	就業規則の一部改正の承認の件
	第4号議案	職員等の出張に関する規程の一部改正の承認の件
	第5号議案	寄附金受け入れの承認の件
	第6号議案	2023年度補正予算の承認
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
第4回理事会 2024年3月19日（火） 場所：愛隣園会議室	第1号議案	児童養護施設愛隣園運営規程の一部改正の承認の件
	第2号議案	ワークセンター愛の園運営規程の一部改正の承認の件
	第3号議案	役員等賠償責任保険契約の承認の件
	第4号議案	2023年度補正予算の承認の件
	第5号議案	2024年度事業計画の承認の件
	第6号議案	2024年度予算の承認の件
	報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会 2023年6月26日(月) 場所: 愛隣園会議室	報告事項	2022年度事業報告
	第1号議案	2022年度計算書類等の承認
	第2号議案	任期満了に伴う役員の選任の件

(3) 監査の実施

監事名	監査実施日・場所	監査項目
島袋裕美 宮里善博	2023年5月19日 (金) 場所: 愛隣園 会議室	法人定款第19条の規定に基づき、2023年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況の調査

(4) 評議員選任・解任委員会の開催: 無し

(5) 外部会計顧問調査の実施

委託先	訪問月日・場所	チェック項目
E Y 税理士法人	2023年4月26日 (水) 場所: 法人 事務所	前年度会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導 2023年年度～2023年4月までの会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導
	2024年1月16日 (火) 場所: 法人 事務所	2023年4月～2024年1月までの会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導

4. 役員研修の状況

実施年月日	研修名・場所	参加者(役員区分)	研修日数	研修内容
2023年10月25日	沖縄県社会福祉大会 場所: 沖縄コンベンション センター	上地 武 (理事長)	1 日	講話: 沖縄県の子ども達のためにできることをテーマとし、ヤングケアラーの実態調査を通して問題と課題を学ぶ。 表彰: 県内社会福祉関係者へ社会福祉への功労及び発展と貢献への表彰式参加

5. 資産(土地・建物)等の状況

(1) 自己所有資産の状況

	所在地	地目、構造及び用途	面積(m ²)	取得	担保提供
基本財産 (土地)	字与那原2943番地	宅地ー施設用地	19182.08	S48.2.1	無
	字与那原2960番地	〃	915.39	S47.8.29	無
	字与那原2974番の1	〃	1164.96	S48.2.1	無
	字与那原2969番地	〃	689.49	S47.7.25	無
	字与那原2959番2	〃	19.10	S58.8.19	無
基本財産 (建物)	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート平屋建ー体育館	507.83	S45.3.15	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート3階建ー愛の園	817.36	S63.3.31	無
	字与那原2943, 2969番	鉄筋コンクリート平屋建ー厨房棟	182.51	S55.6.30	無
	字与那原2943番の8	軽量鉄骨平屋建ー店舗	24.12	H7.12.1	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート4階建ー児童宿舎	2595.40	H13.9.18	無
	字与那原2943番の7	鉄筋コンクリート平屋建ー分別場	70.58	H21.2.17	無
運用財産 (1) 土地 (2) 建物	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート造ー苗置場	66.00	S38.7.1	無

(2) 借地等の状況

土地	所在地	地目、構造及び用途	面積(m ²)	契約の有無(相手方)
	字与那原浜田原2998-14	井戸敷地	21.44	有(沖縄総合事務局)
建物	与那原町	こひつじの家	117.25	有(神谷光信)
	与那原町	ともしびの家	71.64	有(奥平絹子)
	与那原町	あかりの家	106.86	有(玉城恒)
	南風原町字本部434-11	グループホーム愛さ	71.13	有(浦崎隆子)
	与那原町字東浜86-2	グループホーム美さ	67.725	有(仲里武史)

6. 公益的な地域貢献活動への取組状況

- ① 園庭解放及び電話やメール等により、地域の子育て家庭を対象とした相談支援
- ② 地域住民等へ体育館、グラウンド、マイクロバス等を貸出し、地域福祉及び教育活動を促進
(小中学校クラブ活動、地域のクラブ活動、地域の保育園行事、教会行事等)
- ③ 福祉人材育成活動として、福祉養成学校等の実習生の受入れによる福祉人材の育成
- ④ 児童虐待防止ネットワークへの参画 (要保護児童対策地域協議会)
- ⑤ 障害の理解促進の取組みとして地域住民の交流による理解促進 (バザー、町内外イベント参加)
- ⑥ 複数法人間連携事業への参画として、連携事業への参画による地域のセーフティーネット構築
(学校、警察、民生委員児童委員、町福祉課、町子育て支援課、町障害福祉課、町社協)
- ⑦ 災害時に備え、地域の災害時一時避難場所として指定し、地域住民と連携した防災体制の構築

7. 管理者会議、苦情解決委員会、その他の委員会の開催

(1) 管理者会議の開催

①管理者会議 2023年4月6日 (木)	①2022年度第5回理事会の件 ②新型コロナウイルス感染症への事業所内対応の件 ③監事監査の件 ④給与規程の一部改正の件 ⑤2023年度第1回理事会の件 ⑥2023年度定時評議員会の件 ⑦2023年度理事会の議案上程の件 ⑧愛隣園創立70周年記念式典の件 ⑨苦情解決委員会の件 ⑩安全運転管理者の件 ⑪2023年度事業計画の件
②管理者会議 2023年5月11日 (木)	①内部監査及び監事監査の件 ②給与規程の一部改正の件 ③2023年度第1回理事会の件 ④2023年度定時評議員会の件 ⑤2023年度理事会の議案上程の件 ⑥経理事務う任命者の件 ⑦愛隣園創立70周年記念式典の件 ⑧BCP (業務継続計画) の件
③管理者会議 2023年6月9日 (金)	①台風2号に伴う業務停止等の件 ②2023年度第1回理事会の台風襲来に伴う決議の省略の件 ③2023年度定時評議員会の件 ④2023年度第2回理事会の代表理事選定に伴う招集手続き省略の開催の件 ⑤愛隣園創立70周年記念式典の件 ⑥バザー実行委員会の件
④管理者会議 2023年7月11日 (火)	①法改正に伴う就業規則の改正の件 ②人事の件 ③愛隣園福祉バザーの件 ④愛隣園創立70周年記念式典の件
⑤管理者会議 2023年8月18日 (金)	①台風6号に伴う被害状況及び業務停止期間の件 ②就業規則の改正の件 ③経理規程の改正の件 ④最低賃金の件 ⑤給与規程の一部改正の件 ⑥愛隣園福祉バザーの件
⑥管理者会議 2023年9月7日 (木)	①就業規則の改正の件 ②最低賃金の件 ③給与規程の一部改正の件 ④経理規程の改正の件 ⑤第2回理事会開催の件 ⑥愛隣園福祉バザーの件 ⑦2023年度人事の件 ⑧愛隣園創立70周年記念式典・祝賀会の件

⑦管理者会議 2023年10月5日（木）	①愛隣園福祉バザーの件 ②第3回理事会開催の件 ③2023年度人事の件 ④愛隣園創立70周年記念式典・祝賀会の件
⑧管理者会議 2023年11月9日（木）	①愛隣園創立70周年記念式典・祝賀会の件 ②第2回理事会開催の件 ③人事の件 ④クリスマス礼拝・祝会の件 ⑤職員新年会の件 ⑥社会福祉法人及び社会福祉施設一般監査の実施の件
⑨管理者会議 2023年12月14日（木）	①愛隣園創立70周年記念式典・祝賀会の件 ②規程改正箇所の確認の件 ③社会福祉法人及び福祉施設一般監査の実施の件 ④人事の件 ⑤元愛隣園施設長の葬儀の件
⑩管理者会議 2024年1月11日（木）	①社会福祉法人及び福祉施設一般監査の実施の件 ②人事の件 ③アルコール探知議義務化の件 ④愛隣園創立70周年の件 ⑤第4回理事会開催の件 ⑥大口寄附金の使途の件
⑪管理者会議 2024年2月2日（金）	①愛隣園創立70周年の件 ②多額寄付の資金計画の件 ③マイクロバス運転免許費用の件 ④第4回理事会開催の件 ⑤人事の件 ⑥有期契約職員の労働条件明示の義務化の件 ⑦能登半島地震に関わる募金の件
⑫管理者会議 2024年3月12日（火）	①愛隣園創立70周年の件 ②パートタイム非常勤職員の給与改正の件 ③大型運転免許取得費用助成金の件 ④第4回理事会開催の件 ⑤2024年度理事会及び評議員会等の議案上程の件 ⑥2024年度人事の件 ⑦三六協定の件 ⑧感謝状贈呈の件 ⑨辞令交付式の件

（2）苦情解決委員会の開催

①苦情解決委員会 2023年4月12日（水）	①2023年3月～4月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
②苦情解決委員会 2023年5月10日（水）	①2023年4月～5月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
③苦情解決委員会 2023年 8月 9日（水）	①2023年5月～8月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
④苦情解決委員会 2023年 9月11日（月）	①2023年8月～9月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
⑤苦情解決委員会 2023年11月15日（水）	①2023年9月～11月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
⑥苦情解決委員会 2024年 1月24日（水）	①2023年11月～2024年1月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等

⑦苦情解決委員会 2024年 2月14日（水）	①2024年1月～2月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等
⑧苦情解決委員会 2024年 3月13日（水）	①2024年2月～3月までの苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③施設の状況報告等

8. 児童養護施設愛隣園創立70周年記念事業

記念式典：2023年11月24日（金）

祝賀会・シンポジウム

会場：愛隣園体育館

2023年度児童養護施設 愛隣園 事業実績報告書

1. 「主な取り組み事項」

(1) 職員体制等について

組織力を高め、事業運営を円滑に推進していくため、各ホームに主任を1名配置し、それぞれ所属ホームを統括することを継続しました。

ホーム職員の意見吸い上げ、管理者の方針などを職員に周知していくことがスムーズになっており、全体としても定着しています。

定例の養護課会議や必要に応じて開催する臨時会議を通して、全体会議での協議事項や迅速に対応すべき事柄などについても適切に対応できるよう継続しました。主任がホームの意見をまとめることにより、ホーム運営、児童への支援、チームケアなどが昨年度同様にスムーズに行えるようになっていきます。しかし、コロナウイルス感染対応、インフルエンザ蔓延による全体会議の縮小や中止を余儀なくされ、全体で他ホームの状況共有などができない時期もあり、日誌などで共有できる方法はあるものの、対面にて全体を理解することに課題が残りました。また、職員配置基準の弾力的運用に伴う採用拡大により、本体5名の担当者に補助職員1名を活用した1ホーム6名体制を整えるよう継続しましたが、補助職員の退職に伴い、募集を行っても確保が難しく、夜間の2名体制を継続するために勤務が厳しい状況も見られました。特に個別対応が必要な児童については、事務所職員も含め個別対応を行い、より丁寧に児童の発達に合わせた余暇時間の過ごし方を意識して取り組んできました。また、地域の児童デイの活用を行い、発達障害を抱える児童の支援について充実できるよう継続して取り組みました。

今年度は、11名（補助員、夜勤専門員、定年退職含む）が退職し、良い人材にいかに関係して働いていただけるか、人材育成にはとても課題を感じました。特に、職員個人の児童との関係性のことではなく、チームケアとして他の職員とうまくいかないケースもあり、コミュニケーションや経験豊富な職員の人材育成に対する意識の向上など、どのような学びが必要か考えさせられる一年でした。

本年度は将来のケア単位の小規模化、職員の定着率を向上させる目的で2名の非正規職員を正規登用することができました。児童らの支援の連続性、地域分散化の人材確保をするためにも、予算との兼ね合いを勘案しながら、継続して職員の正規登用を検討していきたいと思えます。

職員採用については、平等且つ適切に対応するため、「職員採用マニュアル」を活用することになっており、非常勤も含め初任者研修を継続しました。従

来の関係法令、法人理念等に加え「児童養護施設運営ハンドブック」を活用した具体的な支援について初任者研修を実施することにより、施設内暴力の防止や児童とその家族の理解など、人材育成を充実できるよう取り組みを継続しました。各種研修については、ほぼ対面で行うことができ、九州児童養護施設職員研究大会、西日本児童養護研究大会、沖縄県児童養護研究大会、沖縄県児童養護協議会初任者研修などに多数の職員が参加することができ学びを深めることができました。

利用者の権利擁護については、沖縄県版権利擁護ガイドライン「より良い支援の実現に向けて」を活用したオリエンテーションの実施や、令和6年度の児童福祉法改正施行に伴うアドボカシー導入の義務化を踏まえたモデル事業を県や実施団体からの要請に応じて継続して実施し、アドボカシー制度の意図や目的などの研修を実施しました。

今年度は、社会福祉援助技術実習の受け入れを1名行い、実習指導担当者、管理者と協働して実習プログラムを作成し、大学側と協議しながら実習受け入れを行うことができました。

卒園した児童のアフターケアや卒園を前にした児童へのリービングケアを行う「自立支援担当職員」の配置により、進学、就職を視野に入れた面談やアンケートなどによる具体的な取り組みが継続できました。貸付制度の活用などもあり、卒園後の状況を把握できることで、卒園後の支援も必要に応じて対応できるようになっています。今年度も、卒園児の再就職に伴うアフターケアなどを必要に応じて行い、卒園児が新たな生活をスタートすることができました。また、地域の商工会議所と連携し、就労体験などを継続することにより、児童らの社会生活に対するイメージづくりや就労体験を通じた経験が自信につながるケースも見られています。地域の子どもたちを見守るための集まりにも参加し、地域の子どもたちへ向けても各関係機関と連携して取り組める体制づくりや国が示す地域支援を目指していきます。

今年度も苦情解決委員会を月に1回開催することを目標に、第三者委員と苦情受付担当者、苦情解決責任者を交えた話し合いにて利用者の苦情や要望について検討する機会を設けましたが、コロナ感染、インフルエンザ蔓延により毎月開催が厳しい状況でした。しかし、利用者より出された意見、要望はすべて報告することができ、適切なアドバイスもいただきながら取り組んできました。アドボカイト導入の義務化により、第三者苦情解決委員会の開催について回数を減らすべきでないかとの意見が出ており、委員会で協議を重ねた結果、苦情などの報告は文書等にて行いながら来年度には回数を減らす方向で協議を継続することになりました。利用者の状況把握や具体的な苦情や要望についてアドバイスをいただけるよう必要に応じて委員会を開催

できる体制も含め取り組んでいきたいと思っています。

今年度も、見回り簿のチェック箇所の明記で戸締りの確認の強化、児童へのアンケート実施、小集団、個人面談の性教育の実施、心理士による性教育の実施、SV研修の実施、「児童間性暴力“0”へのロードマップモデル事業」（神戸児童間暴力研究会主催）参加による、児童間暴力の予防とアセスメントについてモデル開発の実施などに取り組む、今年度でまとめることができました。

（２） ホーム体制について

今年度も、本体28名定員の2ホーム体制としました。1ホーム6名の職員を配置し（内1名は平日の夕方から夜間までのパート）、幼児から高校生までの縦割で1ホーム定員は14名を継続しています。また、担当制を継続することで、児童の個別的な支援の充実に努めるとともに、夕方17時から夜間22時までの時間帯を職員2名体制とし、幼児の入浴、食事、寝かしつけの支援や年少児、高齢児に対しても丁寧に対応できるよう継続しました。夜間2名体制だと、ゆったりと子ども達に関わることができ、問題行動に対する迅速な対応、夜間の見廻り等の対応が継続できています。

担当者だけのローテーション勤務では2名体制を維持することは困難であり、補助員の活用によって体制を維持してきました。しかし、休日等の2名体制を行うには勤務状況が厳しくなり、何かあった場合の代替職員等も含め、継続して体制を整えていく必要がありますが、事務所職員のヘルプでこなしている状況です。更に、産休・育休の代替職員の募集を行っても確保することが困難であり、他の職員でカバーし合って乗り越えてきました。職員が遠慮なく安心して産休・育休がとれるよう体制を充実しなければならない反省がありました。また、様々な障害を抱える児童の増加もあり、2名体制でもきめ細かな対応が難しい部分もあるため、個別に愛着を形成するためにもケア単位の小規模化を図ることが大きな課題となっています。しかし、小規模化にも距離の近さや指導的になり過ぎないように配慮が必要であり、職員のバーンアウト、児童同士、職員と児童の相性からくる課題など、丁寧に議論を深めながら取り組む必要性やそれを踏まえながら国が示す「社会的養育推進計画」の見直しに伴い、児童への丁寧な支援ができるよう職員の勤務体制も含めた総合的な整備が必要不可欠となっています。それを踏まえ、来年度へ向けて5名の採用が決まっています。（内1名は正規採用）

国が示す地域支援や更なる小規模化、地域分散化に応えるためにも人材確保、人材育成は大きな課題となっているため、正規登用も含め今後も早期に準備を進めていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

(3) 幼児の集団支援について

今年度も、「幼な子の家」の対象児童がいなかったため、担当する専任担当者を配置しませんでした。しかし、緊急一時保護児童の対応や個別対応の充実を目的に、児童指導員（非常勤）を増員し、一時保護や個別対応ができる体制を継続しました。幼児の集団支援については、地域の一員として児童が育まれるよう、二重措置が困難である現状の改善について継続して声をあげていきます。社会的養育推進計画のもと、幼児は里親家庭に委託される傾向がある中、親の意向や兄弟分離の課題により幼児の打診もあったため、様々なケース受け入れの想定をしながら人員配置などの準備をしていきたいと思っています。

(4) コロナウイルス対応について

コロナウイルス蔓延防止及び対応について、対応マニュアルに沿って対応し、感染者は出たものの集団感染は防ぐことができました。また、今年度も補助金の活用によりマスク、消毒液を切らさないよう事前に準備を行うことができ、前年度に準備できたリモート用の機材などの活用で研修なども継続して受講することができました。

社会状況を鑑み児童らの外出、帰省、面会、外部行事への参加、来客制限などを解除し、児童の保護者、職員に対して感染予防の協力をお願いし、蔓延防止に取り組んできました。また、行事や招待は去年度より蔓延状況が緩和されてきたのに伴い、招待参加や学校行事参加、バザーの開催、中高校生も希望の離島などでキャンプを行うことができました。

家族との交流も再開でき、外出、帰省など、家族関係を継続して支援することができたのはとても大きな一年でした。

職員に対しては「特例に関する給与規定細則」に基づき手当を継続して支給しました。

2. ケア単位の小規模化・地域分散化について

地域小規模児童養護施設「こひつじの家」（定員6名 男子棟）と「ともしびの家」（定員6名 女子棟）、「あかりの家」（男子棟）を継続して運営し、個別に関われることで個々の児童の状況に合わせて支援できている、児童らも自分の居場所として概ね順調に推移しています。しかし、距離が近すぎる故の関係性の悪化や発達に課題を抱える児童の入所による対応の難しさなど、大きな課題も出てきています。職員配置を5名とし、ホームを総括する主任を1名ずつ配置していますが、その場で支援の判断を行うことも多くなり、職員にとっては力量が問われる場面も増えるので、柔軟な対応ができる体制づくりが急務となっています。

づくりが急務となっています。

国が推し進めるケア単位の小規模化に伴う当園の「家庭的養護推進計画」を沖縄県、厚労省へ提出してあります。厚労省より新たに「社会的養育推進計画策定要領」が示され、県でも「社会的養育推進計画策定委員会」のスタートへ向けて準備を進めているようです。来年度の策定に向けて、支援の小規模化に伴う、職員の確保、勤務体制の軽減、ハード面整備に伴う財源確保はとても大きな課題となっています。特に人員が揃っていても、男子棟、女子棟を担う職員の性別や課題など、より家庭的な雰囲気近づけることができるよう様々な角度から話し合いが必要と感じています。そのことを踏まえ、県との策定委員会にて、支援が丁寧に柔軟的にできる体制や見直しが必要であるということを提案していきたいと思っております。

3.事業の実施状況

養護目標・・・自主性を育む

《重点努力目標》

- ・褒める場面を増やし、自己肯定感を高める
- ・日々の生活の中で感謝と思いやりの気持ちを育てる。
- ・自ら考え行動できるような言葉かけを行う。
(指示的な言葉かけだけにならない)
- ・気持ち良いあいさつを通して社会性を育む。

①各項目の養護反省（全体）

（１）基本的生活習慣

就寝起床時間や朝の当番・お手伝い、テレビの視聴時間などについて子どもたちと話し合いながら、基本時間を設定し、各ホームや児童集会などで確認し合い実施しました。

幼児や年少児に対しては、いつでも気持ちよい就寝、起床ができるように絵本の読み聞かせや起床の声かけを丁寧に行い、早寝早起きを習慣づけるように支援しました。また、洗面、食事等の支援も児童の発達状況に合わせて行い、部屋の清掃等きれいな生活空間を提供する中で、気持ちの良い生活体験を通して自立を支援しました。特に高齢児については、できる限り個室が利用できるよう配慮し、個々の課題に丁寧に取り組めるよう継続して支援を行いました。

洗たくや自室の清掃等をそれぞれの発達段階に応じて支援し、労作や日常のお手伝いの中で勤労意欲を向上させるように努めたところ、楽しく労作活動等ができることが定着しています。

金銭管理については、小遣い帳をできるだけ自分で記帳させ、いつでも閲覧

金の使い方を工夫する児童も多くなり、小遣いを貯めて欲しい物を購入するなど、目標に向かって貯金できる児童も増えてきました。また、高校生が社会体験も含めたアルバイトをし、卒園後の準備金として貯蓄することができました。

アルバイトによる社会体験により、対人関係において社会性が乏しい児童も成長が見られ、課題とされるコミュニケーション能力が向上することができました。ただし、発達に課題を抱える児童にとってはアルバイトできる場所を探すだけでも大変で、コミュニケーションが苦手な分継続することも厳しい状況です。その児童の発達に応じた就労体験ができるよう工夫と体験先の開拓が必要となっています。また、携帯電話の所持及び使い方や帰宅時間などルールに関しても要望を出す児童も出ているので、説明とルールを共有していますが、なかなかルールを守れない児童もいるため、携帯電話、ネット活用については職員も継続した学習が必要な現状です。

虐待などで心に傷を抱え、自己肯定感が低い児童が多い中、併せて知的障害や発達障害を抱える児童が増加しています。しかし、障害や虐待によるトラウマの特性上、日常生活や学校生活で注意を受けることが多く、児童らの自己肯定感を高め、児童本人の生きる力や様々な意欲に繋がるような支援をより充実させる課題に対し、それぞれの児童の得意な分野において部活動やクラブ活動を奨励し、個別に作業時間や創作活動を設定して認められ体験を増やしてきました。また、個別支援を行い、障害を抱える児童の支援の充実に取り組み、児童デイの活用などにより個別に発達支援ができるようになりました。継続して取り組んでいきたいと思えます。

また、どのような職員体制、生活単位がそのような児童にとって生活の質と支援の向上に繋がるのか、継続して考えていきたいと思えます。

（２）余暇活動

コロナウイルスによる規制が解除され、年齢、発達に応じた横割のプログラムを実施しました。（夏季キャンプ等）。また、日常生活での園庭などで遊ぶ姿も見られるようになり、コロナ禍による児童、職員のストレスもかなり軽減され、招待などに参加できたことは、子どもたちにとって貴重な体験をする機会となりました。今年度もマスクや遊具のご寄贈など、子どもたちの余暇活動を充実できるようなご寄贈が多く、社会の皆様の温かいお気持ちに救われた一年でした。

学校の部活動やクラブ活動及び地域のサークル活動（サッカー、フットサルクラブ等）への参加を奨励しているところ、続けて頑張る児童の自信や自己肯定感の向上に繋がっています。また、職員も部活動やクラブの父母会へ積極的に参加し、児童が地域の一員として大切にされ、好きな部活動やクラブ活動が継続できるようにサポートしていきます。今年度も、小学生の地域のクラブ活

動については職員が父母会として関わることになるため、すべての土日、祝祭日に対応しなければならず、担当職員の勤務負担が増えることが課題となりましたが、職員を増員するなどの措置を講じながら今年度も地域の父母の協力のもと、やり通すことができました。

（３）児童自治会活動

小・中学生は児童集会を持ち、当園のニュースなどの表紙や挿絵に選ばれた児童などに図書券をプレゼントし、意欲を向上させるよう取り組みました。積極的に絵に興味を示す児童が増えており、褒められることの中で自信をつける良い機会となっています。意見箱の活用について児童集会や入所時のインテークにて適宜説明を行い、意見表明や苦情の申し出が活発になるよう話し合いました。また、今年度も令和６年から義務付けされるアドボカシー制度のモデル事業に参加し、職員の勉強会、児童への説明会、意見表明の取り組みを実施しました。このモデル事業から見られた課題などについて県やアドボケイト機関とも共有し、児童の意見表明が保障されつつ、職員との関係性が強化できるような取り組みを目標にしていきたいと思います。

アドボケイトと意見箱の違いについて混乱する児童も出るので、苦情解決委員会の開催の仕方などについても見直しの話し合いをしています。

意見箱に書かれた内容については第三者委員に開示し、苦情解決委員会にて助言などを得ながら児童への回答を行ってきました。児童の希望によっては、第三者委員と児童が面接を行うことやお手紙が欲しいなどの要望が選択できるよう取り組みを継続しています。

中高校生については、部活動やアルバイトでなかなか自治会を活性化できない状況にあるため、小集団や個別の話し合いを増やし、児童の声を吸い上げるようにしてきました。児童から日常の門限時間、携帯電話の取り扱いについて意見が出ていたので、全体の約束事も含め子どもたちが自分の生活の場として認識できるよう継続して話し合い、委員会活動の中に位置づけることで、現場の職員と児童で話し合いができるような自治会を目指しています。

キャンプは、児童らと話し合いながら、児童らが要望する内容に沿って計画・実施できました。自立のために必要なスキルやネットの効果的な活用方法など、自立支援プログラムにて外部講師の研修を卒園生向けに実施することができました。児童らの意見を良いかたちで生活に反映できるよう継続して取り組みを行いたいと思います。

また、中高校生の入所も増加しており、入所前に丁寧に施設にあるルール必要性、権利擁護の取り組み、進路の選択などの説明を行う必要性を強く感じしており、インテーク用のパンフレットを作成、活用し実施する中で、入所前から高校生の意見を吸い上げることができるよう継続して取り組みました。

ただし、発達に課題を抱える児童によっては、生活のルールそのものをなかなか理解することが難しいため、そのような児童に対してどう理解できるよう継続的にどう伝えていけるか、支援する側の私たちのスキルなどを高める必要性を感じています。

（４）性（生）の尊厳

アドボケイト導入の際にCAP大人ワーク、子どもワークを実施できました。ただし、個別の性教育は継続して行い、性的事故を防げるよう生活場面で性的な課題となっている部分について話し合い、職員の性や人権に対する意識を高め、生活場面での関わり方で職員が意識してよりよい言葉かけができるように取り組みました。また、チェックリストを活用し、施設全体でどこか課題となっているか検証作業を常に現在進行形で検討するようにしています。

これまでの取り組みの中で職員も一緒に性について学ぶ機会となり、生活の場で子どもたちへの適切な支援ができるよう意識付けがなされており、来年度もより良い性（生）の研修を考えていきます。また、研修だけに留まることがないように、職員の意識、技術の向上を目標に今後も取り組みを続けていきます。

（５）社会化の促進

学校PTAの役員及び地域PTAの係を輪番制で一ホームが担い、継続してPTA活動に積極的に参加しました。学校PTAにおいては、小学校で特に気になる児童の学年やクラスの環境委員として役員を引き受け、PTAの方々や先生方との連携強化に努めました。

今年度は愛隣園福祉バザーが開催でき、地域の方々とボランティア活動を通して関わりが持てました。

体育館などの施設を地域の行事やスポーツ活動に開放し、地域の活動に協力してきました。地域の民生委員や小中学校の初任者研修等の見学、施設説明の受け入れを再開し、学校や地域の民生委員の方々と関係強化を図りました。

週に1度の礼拝を教会やホームで行い、教会との連携を図り、教会で行われる行事（クリスマス、イースター、キャンプ、土曜クラブ等）への参加も再開できました。

これからも地域との繋がりを大切にし、地域へのボランティア活動や共同のプログラムを通して、児童が地域の一員として成長できるような環境づくりを目指していきます。

（６）施設機能の強化

施設機能強化推進費を有効に活用し、県内外への専門的な研修へ職員が参加することができました。

県外での研修においては、児童養護施設がこれから向かう方向性、より複雑化するニーズに対する支援のあり方等、全国的な取り組みや課題などを学ぶ機会となるため、他施設との情報交換の場としても継続して取り組んでいきたいと思っています。

今年度も、県の「沖縄県児童養護施設等資質向上支援事業」の一環として、アドボケイト導入に関する視点としても大切な権利擁護に関する研修を実施しました。アドボカシーに関わる子どもたちの声をどう聞いていくかという支援について、おきなわCAPの皆さんによる研修を実施しました。

今後も継続して研修を実施し、ケースの見立てのみならず、自立支援計画の策定と活用まで児童の支援に生かせるような研修の計画を立てていきたいと思っています。

また、「こころサポート事業」の嘱託医である尾野先生をSVに迎え、個々のケースについてケース検討会を重ね、支援の方法について学習を続けてきました。特に、発達障害、無気力、虐待によるPTSDを抱える児童への関わり方について学びを継続できました。

児童養護施設職員資質向上事業の「地域分散化」「高機能化」へ向けた二つの研修を2名の職員が受講できました。この研修への参加により、どの職員もリーダーを担えるよう継続して取り組んでいきたいと思っています。

今年度は、進学、就職する5名の児童のうち、後援会より3名に対して自動車免許取得のための支援をいただきました。継続して、各児童の希望に沿った進路を選択できるよう各制度の活用、当園の後援会からの支援金制度の整備等をお願いし、児童が夢を持って進学、就職の選択ができる体制を整えて充実させていけたらと思います。

リービングケアについても、厚労省からの配置が求められている自立支援担当職員を活用し、自立支援プログラムの参画と実施、企業との連携など、社会に出るために必要な知識、経験ができるよう取り組みを継続させていきたいと思っています。また、卒園後のアフターケアについても、再就職活動支援を行い、児童が孤立せずに再就職の道が選択できるよう支援を行いました。卒園後に自動車免許取得などが必要な児童に対しても支援を行い免許取得できるようにしました。

更に、卒園者の再就職のための資格取得についても必要に応じて支援を行い、溶接などの資格を取得できるようにしました。

(7) ボランティアの活用状況

今年度はボランティア活動の受け入れを再開し、児童の余暇活動のボランティア、福祉バザーのボランティア活動を実施することができました。

所属等	人数	頻度	実施内容
一般	1名 1名 1名 1名	一ヶ月間 月2回 年/5回 年/4回	児童の日常生活補助。余暇活動。 児童の個別対応 児童の余暇活動 児童の余暇活動
海軍ボランティア	25名	年/4回	園内清掃
与那原町赤十字奉仕団 与那原町商工会女性部 知念高校 町民児協 首里教会 卒園者 元職員	17名 6名 24名 5名 6名 1名 1名	年/1回	愛隣園第44回福祉バザー

(8) 関係機関との連携

家庭支援専門相談員を中心に、児童相談所、児童の家族に関わる関係機関や病院、保健師等と連携を図りました。ケースによっては、児童相談所とケース検討を行いました。

小・中学校並びに警察署とは、日頃の連携はもちろん、園児の情報交換や地域の子どもたちの状況について話し合うなど、情報の共有に努めました。今後も各関係機関との連携強化や児童への支援の充実に努めていきたいと思います。

アフターケアについても、障害者支援センターとの連携や沖縄県自立支援事業所「にじのしずく」など、必要に応じて関係機関と連携して対応してきました。

また、継続して地域の児童デイを活用し、発達障害等を抱える児童にとっては個別に特別な活動ができています。

(9) 家庭復帰促進と小規模ケア

家庭支援専門相談員を中心に児童相談所や関係機関と連携のもと、親や親族との関わりを密にすることができ、親子交流を継続してきました。特に今年もコロナ禍とあって、手紙や電話交流など工夫をしながら親子関係を構築してきました。年度途中で家庭復帰になったケースが1ケースでした。家庭復帰したケースについても、児童相談所や地域と連携しながら卒園後の状況把握に努め、必要に応じて支援を継続しています。複雑化する家庭状況もあり、家族の再統合の方法も多岐に渡ってきました。児童の視点に立ちつつ、適切なアセスメントができるよう取り組んでいきたいと思います。

FSW を中心に親との関係づくりを継続する中で、就労や児童らとの関わりに意欲が見られてきた親もあり、継続して親や関係機関との連携を強化し、子どもたちの意見も反映しながら、「子どもたちの最善の利益」「家族の再統合」に向けて働きかけていきます。

また、虐待や DV ケースにも関わらず、強く引き取りを要求してくる親もあり、関係性を構築しながら支援することが難しい状況もありました。今後もこのようなケースが増えると予想されるため、適切な支援と関係構築ができるよう児童相談所、各市町村との連携を強化しながら取り組んでいきたい。

家庭支援専門相談員による家族等に対する年間の主な取組状況

家庭訪問	関係機関との連携	ケースのモニタリング会議	親への就労支援等	卒園児に対するアフターケア	親との面談（来所）
17回 (10 ケース)	28回	23回 (44 ケース)	5回 (3 ケース)	5 ケース	10回

(10) 被虐待児等地域療育支援・体制構築事業（こころサポート事業）の推進と評価

今年度も県内里親、FH（ファミリーホーム）を対象に療育コーディネーター及び心理士による面接、相談支援や各こころサポート事業所との連携により、研修などを企画し、里親、FH 向けに発達障害の理解や養育について講師を招いて勉強会を実施しました。

里親、FH 主催の連絡会や行事は可能な限り開催し、里親、FH の現状を把握する中で情報を共有しながら、各種制度についても情報提供を行いました。コロナ禍で外部と関わりが持てない分、当園の児童を対象に個別面接や個別的な関わりを多く持つようにし、特に個別対応が必要な児童と関わることができました。また、嘱託医の SV 研修も可能な限り開催し、貴重なアドバイスや職員のエンパワメントに繋がっています。

こころサポート事業による主な年間の取組状況

里子への 児童面接 (相談員)	里子への心理 面接 (心理士)	里親宅訪問	連絡会・研修 会企画実施	嘱託医による ケース検討会・ 支援者面接	里親との面接 及び電話相談 等
0回 (15回)	36回 (138回)	21回	連絡会 40回 研修企画 14回	検討会 (12回 17ケース)	68回 (7ケース)

() 内は当園児童の対応回数

(11) その他

人材育成について

実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
保育 実習	エルケア専門学校	2名	R5年 7/3～7/14 (10日間)
	沖縄女子短期大学	2名	R5年 7/18～7/29 (10日間)
		2名	R5年 7/31～8/10 (10日間)
		1名	R5年 8/14～8/24 (10日間)
	鹿児島女子短期大学	1名	R5年 8/16～8/28 (11日間)
	沖縄福祉保育専門学校	1名	R6年 1/9～1/20 (11日間)
		1名	R6年 2/6～2/17 (11日間)
	キリスト教短期大学	1名	R6年 2/13～2/24 (10日間)
		1名	R6年 2/26～3/9 (10日間)
社会福祉 援助技術 実習	東北福祉大学	1名	R5年 6/25～9/29 (200時間)
合計	6校	13名	118日

*今年度の実習はコロナ緊急体制解除に伴い、養成校からの要望に合わせて可能な限り受け入れ体制を整えてきました。

また、保育実習以外に社会福祉援助技術実習の受け入れ体制を整え、1名の受け入れを実施し、プログラム内容についても大学側と共有しながら実習指導に取り組みました。

今後も、実習を人材育成、確保の大切な取り組みと位置づけ、積極的に養成校と連携していきます。

(12) 避難訓練実施状況

月	訓練計画内容	実施状況
R5 年 4 月	避難訓練（日中）	通常避難訓練実施
5 月	避難訓練（夜間仮定）	避難訓練実施（夜間想定）
6 月	避難訓練（日中）	通常避難訓練実施
7 月	避難訓練（早朝仮定）	台風接近により中止
8 月	避難訓練（早朝仮定）	台風接近により中止
9 月	避難訓練（早朝仮定）	避難訓練実施（早朝想定）
10 月	避難訓練（日中）	通常避難訓練実施
11 月	避難訓練（日中）	インフルエンザ、コロナ対応、蔓延防止のため中止
12 月	避難訓練（日中）	通常避難訓練実施
R6 年 1 月	避難訓練（日中）	通常避難訓練実施
2 月	総合防火・避難・消火訓練（日中）	避難訓練・消火訓練実施（消防署隊員立ち合い指導）
3 月	通報・避難訓練（日中）	避難・通報訓練実施（日中）

＊総合防火・避難・消火訓練の消防隊員の講評の中で、避難については児童、職員慣れているのでスムーズな避難であった。避難する際は、酸素を遮断した方がいいので窓などをわざわざ開けないように助言がある。

(13) 愛隣園 70 周年記念式典・祝賀会・シンポジウム

2023 年 11 月 24 日（金）に愛隣園体育館にて「愛隣園 70 周年記念式典・祝賀会・シンポジウム」を開催することができました。また、記念誌発行へ向け座談会も開催し、これまで本園と関わってくださっている地域の皆様、先輩職員の皆様、役員、卒園者の方、現在働いている職員などにてこれまでの振り返りや当時の思い出を語り合いました。記念事業として老朽化した体育館の資金造成を行ったところ、多くの方から 134 万を超える寄附金を賜りました。シンポジウムでも実際に各方面で活躍されている方々に当事者として卒園者の方にも入っていただき、それぞれの立場から愛隣園へ提言をいただきました。子どもたちに当たり前の生活の中で「ちょっと待ってね」と言わず丁寧に支援できるような職員の学び、それができる体制づくり、これから地域に望まれるであろう地域支援の取り組み、何よりこれまで反芻できなかった沖縄の児童福祉、当園の取り組みの歴史を一部かもしれませんが垣間見ることができたことは、私たち現職員にとって大切な機会となりました。

様々な制度、法改正が進む中において、本当に子どもたちに必要なことを、今回のシンポジウム、座談会を通して学んだことを土台に模索していきたいと思います。特に意見表明のあり方とそれを支援に生かす方法や、児童家庭支援センター設立など具体的に動いていきたいと思っています。

② 児童の月別在籍状況(各月初日現在)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均在籍数
男	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	22	21
女	22	22	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23
計	42	42	42	42	43	43	43	44	44	44	44	45	43

(地域小規模児童養護施設「こひつじの家」男子6名、「ともしびの家」女子6名、「あかりの家」男子5名含む)

③ 児童の養護原因別状況(2024年3月1日現在)

養 護 原 因				男	女	計
①	家 出		父	0	0	0
			母	0	0	0
			父・母	0	0	0
②	死 亡		父	0	0	0
			母	0	0	0
			父・母	0	0	0
③	離 婚			0	0	0
④	傷 病 (精神障害者を除く)		父	0	0	0
			母	2	0	2
			父・母	0	0	0
⑤	家庭環境	虐 待	身体的虐待	5	3	8
			心理的虐待	2	6	8
			性的虐待	0	1	1
			ネグレクト	4	6	10
		その他	就労1 薬物1 経済的3 精神疾患4	7	7	14
⑥	そ の 他			2	0	2
総 計				22	23	45

④ 児童の学年別状況(2024年3月1日現在)

学年	小学生							中学校				高等学校				幼稚園児	保育園児	能力開発校	その他	合計
	一年	二年	三年	四年	五年	六年	小計	一年	二年	三年	小計	一年	二年	三年	小計					
男	0	0	0	1	2	0	3	3	4	4	11	3	1	2	6	2	0	0	0	22
女	0	1	2	1	2	3	9	2	3	0	5	1	3	3	7	1	1	0	0	23
計	0	1	2	2	4	3	12	5	7	4	16	4	4	1	13	3	1	0	0	45

⑤ 児童の出身地別状況(2024年3月1日)

出身地		男	女	計
①	那覇市	4	4	8
②	宜野湾市	3	2	5
③	与那原町	1	0	1
④	浦添市	0	1	1
⑤	名護市	0	0	0
⑥	糸満市	6	5	11
⑦	沖縄市	1	0	1
⑧	うるま市	2	2	4
⑨	南城市	0	0	0
⑩	豊見城市	2	2	4
⑪	嘉手納町	1	2	3
⑫	西原町	2	2	4
⑬	久米島	0	3	3
合 計		22	23	45

⑥ 児童の入退園状況
(2023年4月1日～2024年3月31日)

	入所	退所
男	3	2
女	2	4
計	5	6

⑦ 一時保護児の受け入れ状況
(2023年4月1日～2024年3月31日)

	中央児童相談所	コザ児童相談所
男	1	0
女	0	2
計	1	2

*3名は一時保護から措置となる。

⑧ 就進学状況 3月に中・高校を卒業して、就職又は進学をした児童は次のとおりである。

	性別	就 職	高校進学	就職進学	訓練校	大学・専門学校 進学	その他	合 計
中学生	男	0	4	0	0	0	0	4
	女	0	0	0	0	0	0	0
訓練校生	男	1	0	0	0	1	0	2
	女	2	0	0	0	1	0	3

⑨ 児童の年度別入退園状況(2024年3月31日現在)

	入 園			退 園		
	男	女	計	男	女	計
1953年度	36	29	65	0	2	2
1954年度	10	12	22	11	14	25
1955年度	8	19	27	13	14	27
1956年度	9	7	16	8	4	12
1957年度	8	14	22	21	15	36
1958年度	25	10	35	3	9	12
1959年度	10	6	16	13	6	19
1960年度	7	3	10	11	5	16
1961年度	20	8	28	15	11	26
1962年度	7	12	19	7	6	13
1963年度	8	8	16	5	1	6
1964年度	2	8	10	3	4	7
1965年度	9	7	16	2	7	9
1966年度	12	11	23	3	4	7
1967年度	11	7	18	15	14	29
1968年度	8	9	17	6	5	11
1969年度	4	8	12	9	12	21
1970年度	11	11	22	18	12	30
1971年度	13	14	27	16	10	26
1972年度	11	10	21	17	11	28
1973年度	10	2	12	5	10	15
1974年度	13	6	19	8	4	12
1975年度	8	13	21	5	1	6
1976年度	9	6	15	18	12	30
1977年度	15	7	22	9	10	19
1978年度	8	12	20	15	16	31
1979年度	10	6	16	11	6	17
1980年度	6	3	9	6	6	12
1981年度	19	16	35	12	10	22

1982年度	7	0	7	7	11	18
1983年度	9	17	26	9	9	18
1984年度	8	3	11	8	9	17
1985年度	12	11	23	9	11	20
1986年度	13	6	19	12	6	18
1987年度	10	8	18	8	9	17
1988年度	11	11	22	13	5	18
1989年度	5	8	13	9	10	19
1990年度	13	11	24	10	12	22
1991年度	11	9	20	13	6	19
1992年度	9	12	21	17	15	32
1993年度	12	11	23	9	6	15
1994年度	11	6	17	4	11	15
1995年度	7	4	11	11	5	16
1996年度	6	9	15	7	6	13
1997年度	12	10	22	13	8	21
1998年度	11	7	18	6	9	15
1999年度	9	9	18	10	7	17
2000年度	8	4	12	7	4	11
2001年度	9	7	16	9	4	13
2002年度	5	5	10	4	5	9
2003年度	3	5	8	5	4	9
2004年度	2	1	3	4	12	16
2005年度	5	5	10	13	7	20
2006年度	10	11	21	8	9	17
2007年度	8	10	18	7	6	13
2008年度	6	1	7	12	7	19
2009年度	6	3	9	7	6	13
2010年度	1	1	2	2	3	5
2011年度	0	0	0	6	2	8
2012年度	4	8	12	7	7	14
2013年度	3	1	4	5	7	12
2014年度	7	5	12	3	6	9
2015年度	3	3	6	3	1	4
2016年度	2	3	5	0	0	0
2017年度	0	1	1	2	1	3
2018年度	1	0	1	1	1	2
2019年度	4	0	4	7	2	9
2020年度	0	2	2	3	5	8
2021年度	3	2	5	1	2	3
2022年度	5	5	10	3	1	4
2023年度	3	2	5	2	4	6
合 計	601	521	1122	581	502	1083

⑩ 退園状況

	男	女	計
社会復帰	162	120	282
家庭復帰	342	293	635
養子縁組	14	20	34
措置変更	58	60	118
その他	5	9	14
合計	581	502	1083

⑪ 意見箱受付(苦情解決委員会報告)状況

相談内容	延件数(実数)	対 応
ホームを移動したい	10	面談を行う。それぞれの理由を聞き、現ホームでの具体的な状況説明を行い理解してくれる。
朝食にたまごやパンがあまり出ない。おやつも好きなお菓子を出してほしい。	1	栄養士に相談し、本人の話をきいてもらう。栄養的な部分も伝えながら、本児の希望を叶える約束をすることで理解してくれる。
他児を自分のホームへ移動させたい	2	他児と一緒に書いているようで、同学年で仲が良いことで希望してくれたとのこと。面接にて全体の状況を説明し、必ず叶うわけではないが、意見を踏まえて検討することで理解してくれる。
意見箱のえんぴつがなくなっている。	1	えんぴつが意見箱の中に入れており、出して準備していることを伝える。
他児が意地悪してくる。	4	当該児童共に発達に特性があり、対人関係に課題があるため、Bへ具体的な支援・注意をしながら本児にも丁寧な関わりをすることを話し、本児へも具体的対処について話し合うことを伝える。
他児と一緒にのホームを一緒にしないでください。	1	姉妹仲が悪く、母との関係性の中で喧嘩することが多いため、本児の寂しい気持ちを聞きながら、場面で具体的な対応を話し、母との関係性回復に向けて取り組む。
誕生日会でケーキが食べたい。	1	誕生日会を実施し、本児の希望のケーキを食する。
テレビが壊れたので、買ってほしい。	1	購入して解決済。
おやつが食べたい時間に食べられない	1	夕食前や夜間遅い時間などの要望だったので、衛生上の問題や食事の摂取との関係を説明し、掲示を希望していたので、掲示する。

他児がテレビを独占して他の番組が見られない。	1	当該児童は発達に特性があるため、集団生活で協力し合う説明をインテークにて行っていたので、再度話し合う。そのことを投書した児童へ伝える。
余暇用のバドミントンラケットを新しくしてほしい。	1	乱暴に壊されている物もあるので、話し合い購入する。
体育館の利用を増やしてほしい。	4	冬休みも夏休み同様に活動できるよう検討し、実施する。
ピアノを弾きたい。	1	手紙を希望していたので、時間を決めて個別にピアノの練習が可能であることを伝える。
職員の態度の改善(暴力的行為)	1	手紙で返信を希望。事案としてすでに取り組んでいるケースへの意見だったので、その旨手紙にて回答する。
門限を19時にしてほしい。	1	手紙で返信を希望。意見の理由を知りたいことや、門限については検討する余地があることも含め、手紙にて回答する。
職員が少ないから、外出したい時にできない。他児が自己中すぎる。	1	掲示板に掲示を希望。両児童が発達に特性を持っていることを踏まえ、お互いの気持ちを思いやる必要性について全体に訴えるかたちで掲示。また、職員が産休などで手薄になっていることを謝罪し、計画的にやれば他部署の職員も協力することを伝える。
部屋を替えてほしい。	1	発達に課題を抱える児童の訴えで、姉妹の年少児がいることで職員が部屋に入るのも嫌と訴えている。身辺整理が苦手で、支援が必要なため、そのことを確認しながら個別に支援できるよう部屋替えを検討することになる。
こづかいが少ない。	1	発達に課題を抱える児童の訴えで、金銭管理や使い方にも課題があるため、要望次第では検討する必要があることを含め、どういう使い方が必要か支援しながら検討することになる。
合計	34	全ケースを苦情解決委員会に報告済

⑫ 週間及び毎月の行事・会議

	行 事 ・ 会 議	
週 間	・心理士・ホーム連絡会 ・FSW・ホーム連絡会 ・教会学校	
月 間	・職員全体会議 ・児童集会 ・全体労作 ・聖書勉強会 ・ケース検討会等 ・管理者連絡会	・養護課会議 ・ホーム会議 ・防火避難訓練 ・苦情解決委員会
毎 日	・朝会及び礼拝(月曜～金曜9:15～)	

⑬児童の日課

時間	平 日		日曜日等の休日
	幼 児	幼稚園・小学生・中学生以上	
6 : 3 0			7 : 0 0 起床
7 : 0 0	起床・洗面		
7 : 4 5	朝食		8 : 0 0 朝食
8 : 3 0	登園準備	登 校	
	園内保育園 登 園		9 : 0 0 日曜礼拝
1 1 : 3 0		学 校	部屋の片づけ (10 : 00～11 : 00) (夏休み等は午前 中学習時間)
1 2 : 0 0			
1 3 : 0 0	降 園 お昼寝 余暇時間 おやつ	幼稚園児下校 (火曜日は弁当)	
1 5 : 0 0		下 校 おやつ 宿題・明日の準備 (小学生) 余暇時間	
	入 浴 夕 食		
1 8 : 0 0		入 浴	
1 9 : 0 0		夕 食	
2 0 : 0 0	就 寝 (絵本の読み 聞かせ)	余暇時間	
2 1 : 0 0		就 寝	学習時間 (中・高校生)
2 2 : 0 0			就 寝 (消灯)

⑭2023年度中に児童養護のために実施したおもなプログラム

日付(曜日)	園内プログラム	園外プログラム	
4/3 (月)	9:10辞令交付式		
4/6 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議 13:30 管理者会議		
4/11 (火)	15:00～18:00 パソコンウイルスチェック		
4/12 (水)	13:30管理者会議 14:00～16:00 苦情解決委員		
4/20 (木)			14:00～16:00 ここサポ連絡会(いしみ ね)
4/21 (金)			10:00～12:00ここサポ関係者会議(県社協西3F第1・2)
4/22 (土)	11:00～ 沖縄ソバ寄贈(昼食)		
4/25 (火)	14:00～16:00 尾野Dr来園(I.R)		
4/28 (金)	16:00～避難訓練・労作 こいのぼり掲揚		
4/29 (土)		暦	昭和の日
5/3 (月)	帰省できない児童のプログラム	暦	憲法記念日
5/4 (火)	家族交流	暦	みどりの日
5/5 (金)	家族交流	暦	こどもの日
5/9 (火)	14:00～70周年記念事業委員会 17:00 里子面接(ここサポ)S.K		
5/10 (水)	11:00 地域サロン まほろばトクダ議員 14:00～15:00 苦情解決委員会		
5/11 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議 13:30 管理者会議 12:00～17:00 里親制度研修zoom(ここサポ)		
5/12 (金)	町関係者会議 午後 実習オリエンテーション		
5/14 (日)		暦	母の日
5/15 (月)			10:00～11:30 里子のためのアフターケア
5/16 (火)	10:00～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00尾野Dr来園		
5/17 (水)	14:30～ 個別対応連絡会(中児相)		
5/19 (金)	10:00～16:00監事監査		
5/24 (水)	13:00～15:00Fcw心理士会議(愛隣園)		
5/25 (木)	14:00～16:00ここサポ連絡会(さとおや) ホーム会議 12:00～17:00 里親制度研修zoom(ここサポ)		
5/27 (土)			13:00～15:00 さとおや高校生サロン
5/31 (水)	10:00～15:00中央児相施設ケア		
6/1 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		
6/2 (金)	9:00～12:00 理事会 (書面)		
6/6 (火)			14:00～16:00 児養協研修委員会
6/7 (水)	午前～モニタリング(こひつじの家) 午後～モニタリング(希望荘U, R)		
6/8 (木)	12:30園内打ち合わせ 13:30～16:00 コザ施設ケア		

6/10 (土)			にじのしずくプレゼン「デイキャンプ」
6/13 (火)			6/13～6/15九州児童養護施設職員研究大会 (佐賀県)園長・平田・與古田
6/14 (水)	14:00～15:00苦情解決委員会		
6/16 (金)	14:00～17:00心理療法職員連絡会		
6/18 (日)		暦	父の日
6/19 (月)	9時(H, R)心理治療来園		
6/20 (火)	10:00～11:00後援会役員会 10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00 尾野Dr来園		
6/22 (木)			14:00～16:00ここサポ連絡会(美さと) 記録:愛隣園
6/23 (金)		暦	慰霊の日
6/26 (月)	10:30児相来園(E姉妹)		13:30～15:00南部サロン(福祉センター 視聴覚室)ここサポ
6/29 (木)	9:30～11:30理事会 11:00モニタリング(ともしび)		
6/30 (金)	16:00避難訓練		14:00～16:00県・児相・施設連絡会
7/1 (土)			9:00～12:00オープンスペース里親
7/3 (月)			ファシリテーター養成講座7/3～7/4東京 (山川)
7/4 (火)			13:30～15:30北部サロン21世紀の森体 育館会議室
7/5 (水)	S,Mコロナ隔離(自立訓練部屋)隔離対応:園長・課長・山入端		
7/6 (木)	13:30～16:30救急救命講習(中止)		
7/9 (日)	S,Mコロナ隔離解除		
7/10 (月)			ファシリテーター養成講座7/10～7/11 (山川)
7/12 (水)	10:00～12:00ここサポ関係者会議(県社協401) 13:30～15:00中部サロン(美さと)		
7/13 (木)	11:00～12:00こひつじモニタリング		
7/14 (金)	17:10ここサポ里子面接		
7/18 (火)	10:00～11:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		
7/25 (火)	10:30～12:00ここサポペアプロ(オンライン)		
7/26 (水)			14:00ここサポ里親認定交付式
7/27 (木)	14:00～16:00ここサポ連絡会(愛隣園)		
7/28 (金)			施設対抗球技大会
8/11 (金)	9:00～12:00北部サロン(21世紀の森)	暦	山の日 9:00～里親北部サロン
8/15 (火)	9:30～ 養護課会議 13:00～15:00 ホーム会議 14:00～16:00 尾野Dr来園		
8/16 (火)			中・高校生男子キャンプ8/16～8/18(座 間味)
8/18 (金)	13:30管理者会議		

8/22 (火)			中・高校生女子キャンプ8/22～8/24(本部)
8/24 (木)	14:00～16:00 ここサポ連絡会(島添)		
9/5 (火)			10:00～ここサポ中部サロン(美さと児童園)
9/12 (火)			西日本児童養護施設職員研修(京都) 園長・知名・前川
9/13 (水)	14:00～15:00 苦情解決委員 キリ短保育活動体験1名(希望)		
9/15 (金)	14:00～17:00 心理士会		
9/16 (土)	9:00～14:00愛隣園福祉バザー		
9/18 (月)		暦	敬老の日
9/19 (火)	10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00 尾野Dr来園		
9/20 (水)			14:00～支援担当者部会(若夏学園)平田・比嘉・堤
9/22 (金)	8:00～15:00 フォスタリング(幼な子)		
9/23 (土)		暦	秋分の日
9/26 (火)	14:00～16:00 尾野Dr来園		
10/5 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強 13:00～15:00ホーム会議		
10/9 (月)		暦	スポーツの日
10/10 (火)			10:00～12:00 里子のためのアフターケア(東402)
10/11 (水)	14:00～15:00苦情解決委員会		
10/12 (木)	13:30～管理者会議		
10/13 (金)	8:00～15:00 FCP(幼な子)		
10/17 (火)	10:00～12:00 養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00 尾野Dr来園		
10/18 (水)	14:00～個別対応連絡会(美さと児童園)		
10/20 (金)	8:00～15:00FCP(幼な子) 14:00～17:00 心理士会		
10/25 (水)	14:00～15:00苦情解決委員会		13:30～16:30県社会福祉大会
10/26 (木)	14:00～16:00ここサポ連絡会(美さと児童園)		
10/27 (金)	8:00～15:00FCP(幼な子)		
11/1 (水)	9:30～15:45児童養護研究大会 11:00～11:30エレベーター点検		
11/2 (木)	9:00～16:00FCR⑦(打ち合わせ)		
11/3 (金)		暦	文化の日
11/8 (水)	10:00～中央児相施設ケア 15:00～苦情解決委員		
11/9 (木)	13:30管理者会議		
11/10 (金)	9:00～17:00FCP(幼な子) 13:30スポーツ委員(会議室)		
11/15 (水)	11:00～11:30エレベーター点検		9:30～15:45児童養護研究大会
11/16 (木)	9:00～16:00FCR⑦(打ち合わせ)		
11/23 (木)		暦	勤労感謝の日
11/24 (金)	愛隣園70周年記念式典		

11/25 (土)			9:00～16:00「性教育さとおや」福祉センター402
11/30 (木)	9:00～16:00FCP⑦(打ち合わせ)		
12/5 (火)	14:00スポーツ大会実行委員会		
12/7 (木)	9:00～11:00アドボカシー職員研修 9:00～16:00FCP⑦(打ち合わせ)		
12/8 (金)	14:00～16:00理事会		
12/13 (水)	15:00～16:00苦情解決委員会 資質向上職員研修		
12/19 (火)	10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00尾野Dr来園		
12/21 (木)	14:00～16:00ここサポ連絡会(愛隣園) 9:00～16:00FCR⑦(打ち合わせ)		18:00～19:00R5年度里親認定・登録証交付(県庁11F会議室)
12/22 (金)	14:00～16:00理事会 17:00～20:00クリスマス祝会		
2024 /1/4 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強 13:00～15:00ホーム会議		
1/6 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
1/7 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
1/8 (月)		暦	成人の日
1/9 (火)	沖縄保育専門学校実習受入(20日まで)		
1/10 (水)	県指導監査		
1/11 (木)	13:30～管理者会議		
1/13 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
1/14 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
1/16 (火)	10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00尾野DrSV		
1/17 (水)	15:00～16:00苦情解決委員会		
1/19 (金)			14:00～17:00心理士会(コザ児相)
1/20 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
1/21 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
1/25 (木)	14:00～16:00ここサポ連絡会		
1/27 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
1/28 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
2/1 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強 13:00～15:00ホーム会議		
2/3 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
2/4 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
2/6 (火)	沖縄保育専門学校実習受入(17日まで)		
2/8 (木)	13:30～管理者会議		
2/10 (土)			施設対抗球技大会(南城市)
2/11 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)	暦	建国記念日

2/14 (水)			個別対応職員連絡会(若夏学院)
2/16 (金)	14:00～17:00心理士連絡会		
2/17 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
2/18 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
2/20 (火)	10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議		
2/21 (水)	15:00～16:00苦情解決委員会		
2/23 (金)		暦	天皇誕生日
2/24 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
2/25 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
2/28 (水)	13:00～15:00CAPワークショップ		
3/1 (金)	16:00～アドボケイト訪問日		高校卒業式
3/2 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
3/3 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)	暦	ひなまつり
3/4 (月)			6年生を送る会(小)
3/6 (水)			県立高校入試(中)
3/7 (木)	9:15～10:00全体会議 10:00～11:00養護課会議 11:00～12:00聖書勉強会 13:00～15:00ホーム会議		県立高校入試(中)
3/8 (金)	16:00～アドボケイト訪問日		卒業式リハーサル(中)
3/9 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		卒業式(中) 里親会壮行会
3/10 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/11 (月)	13:30～管理者会議		中学校代休
3/12 (火)			10:00～沖縄県児童養護協議会総会
3/14 (木)			高校合格発表
3/15 (金)			14:00～17:00心理士連絡会
3/16 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		
3/17 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/19 (火)	10:00～12:00養護課会議 13:00～15:00ホーム会議 14:00～16:00尾野DrSV 13:30～理事会		卒業式準備(小)
3/20 (水)		暦	春分の日
3/21 (木)			卒業式(小)
3/22 (金)			修了式・離任式(小・中)
3/23 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		春休み～4/7迄
3/24 (日)	教会学校(希望荘・こひつじの家)		
3/28 (木)			14:00～16:00ここサポ連絡会
3/30 (土)	首里教会子どもクラブ(心清寮)		

4. 職員に関する事項

① 人 事

〔採 用〕		〔退 職〕	
児童指導員	4 人	児童指導員	4 人
保育士	2 人	保育士	3 人
補助員	1 人	補助員	1 人
夜勤専門員	3 人	夜勤専門員	2 人
		療育コーディネーター	1 人

② 職員の福利厚生事業の実施

名称	年月日	内 容	参加人数	経 費
福利厚生センターへの加入	1994年7月1日	健康生活給付、生活習慣病予防 検診費用助成、入学お祝い品贈 呈、永年勤続記念品贈呈、クラ ブ・サークル活動助成	43人	430,000円
給与手当	2023年度	子ども手当	11人	699,000円
健康診断		子宮・乳がん検診	10人	46,237円
		人間ドッグ	20人	323,100円
		インフルエンザ予防接種	8人	27,500円

③研修の実施状況（施設内研修）

開催年月日	研修会名・研修内容	講師名	参加者(施設・事業所職員)の職種	人数
2023年4月3日	初任研修・理念、歴史、事業計画、各規則、規程、各マニュアル、権利擁護ガイドライン、児童福祉法、虐待防止法、養護ハンドブック、OJT、勤怠管理	上江洲肇、金城幸光(勤怠管理等)、各主任(OJT)	児童指導員、保育士、栄養士	4名
2023年4月25日	ケース検討会(R.Iさん)・ケース情報共有、助言	尾野勤子(外)	担当職員、心理士、個別対応	9名
2023年5月16日	ケース検討会(K.Yさん)・ケース情報共有、助言	尾野勤子(外)	担当職員、養護課長、自立支援員、心理士	10名
2023年6月20日	ケース検討会(U姉弟)・ケース情報共有、助言	尾野勤子(外)	担当職員、養護課長、自立支援員、心理士、個別対応、FSW	15名
2023年8月15日	心理面接対応SV(Y兄弟、Rさん)・ケースのSV	尾野勤子(外)	心理士	1名
2023年9月19日	ケース検討会(Y.Mさん)・ケースの情報共有、助言	尾野勤子(外)	担当職員、FSW、心理士、個別対応	9名
2023年9月27日	自傷行為の対応について・自傷行為の理解及び対応について	尾野勤子(外)	ホーム担当職員、自立支援員、FSW、個別対応、心理士	12名
2023年10月17日	ケース検討会(L.Mさん)・ケースの情報共有、助言	尾野勤子(外)	担当職員、心理士、個別対応	9名
2023年11月21日	ケース検討会(N.Yさん)・ケースの情報共有、助言	尾野勤子(外)	担当職員、心理士	7名

（施設外研修）

開催年月日	研修会名・研修内容	講師名	参加者(施設・事業所職員)の職種	人数
2023年 6月13日 ～15日	第70回九州児童福祉施設職員研究大会・中央情勢説明、基調講演(全国児童養護協議会の取り組み)、研究部会(施設支援のあり方・ケアニーズの高い子どもたち・専門職との連携・権利擁護の取り組み、地域支援の取り組み、食育、自立支援とアフターケア)、記念講演(子どもたちとの関わりを振り返り)	小松秀夫、桑原教修、堀淨信、古屋康博、堤ちはる、早川悟司、吉木知也	施設長、児童指導員、栄養士	3名
2023年7月19日	令和5年度児童福祉施設職員初任者研修(権利擁護)・沖縄版権利擁護ガイドライン事例のロールプレイ演習及びグループ討議	ファシリテーター:各施設養護課長、主任	児童指導員	2名
2023年 7/3、7/4、 7/10、7/11	第14回フォスターリングチェンジ・プログラムファシリテータ養成コース・座学、ロールプレイ、グループワーク	松崎佳子、上鹿渡和宏	心理士	1名
2023年9月4日	令和5年度社会福祉施設等における災害時業務継続計画(BCP)策定推進研修会・初動対応について、ガイドラインの策定ポイント、グループワーク	根間幸美、宮道喜一	施設長	1名

2023年 9月12日 ～14日	第18回西日本児童養護施設職員セミナー・行政説明、基調報告、記念講演、分科会(施設のあり方、職員を支える、職員の確保と育成、ライフワークストーリー、アフターケア、コロナ禍の取り組み	露入輝、大場信一、団士郎、長瀬正子、安保千秋、増沢高、空閑浩人、岩本俊也、伊部恭子、大橋和弘、石田賀奈子、大和謙二、早樫一	施設長、保育士、FSW	3名
2023年 10月28日 ～29日	2023年度社会福祉実習指導者講習会・実習プログラミング論、実習指導概論、実習マネジメント論、実習スーパービジョン、実習スーパービジョン演習	沖縄県社会福祉会	保育士(社会福祉士)	1名
2023年11月1日	第40回沖縄県児童養護研究大会・行政説明、こどもの声を聞く養育実践、アドボカシー、スポーツ栄養、特製のある兄弟ケース	神谷亜洲子、横堀昌子、奥平夏乃、松本大進	施設長、養護課長、FSW、自立支援員、保育士、児童指導員、心理士、個別対応、栄養士、調理員	16名
2023年11月28日	令和5年度児童養護施設職員等資質向上支援事業高機能化研修・児童の精神的、行動的な問題の理解	島袋裕美	保育士	1名
2023年11月30日	令和6年度児童養護施設職員等資質向上支援事業高機能化研修・子どもの行動上の問題への対応	本村真	保育士	1名
2023年12月12日	令和6年度児童養護施設職員等資質向上支援事業高機能化研修・医療的ケアを必要とする子どもへの対応	石橋考秀	保育士	1名
2023年12月13日	令和6年度児童養護施設職員等資質向上支援事業高機能化研修・発達がいを抱える子どもの理解と対応	城間直秀	保育士	1名

2023 年度ワークセンター愛の園事業実績報告

1. 事業概要について

指定障害福祉サービス事業所（多機能型事業所）として、就労継続支援 B 型事業（定員 34 名）、就労移行支援事業（定員 6 名）、共同生活援助事業（定員 9 名）、相談支援事業のサービス提供を行いました。今年度、就労継続支援 B 型事業については 42 名の利用実績となっており、六つの作業班でさまざまな業務内容に応じた訓練・支援を行いました。一方、就労移行支援事業については利用実績なしの状態推移しており、今後利用ニーズの動向を見ながら新規事業の検討など総合的な見直しが必要です。

共同生活援助（定員男子寮 5 名、女子寮 4 名）は今年度も満床で推移し、引き続き順調な運営ができています。利用者やそのご家族の高齢化に伴い、共同生活援助事業のニーズは年々高まっており、グループホームの増設等しっかり進めて行く必要があります。

相談支援事業所「じょいまーる」では、与那原町、西原町、南城市の 3 市町の方々を中心に障害福祉サービス利用計画書作成等のサービスの提供を行いました。現在、指定特定相談支援事業は 95 名の利用契約に達しており、今後も利用ニーズの拡大が予想されるため引き続き相談員の人材確保、育成、定着を図っていく予定です。また、昨年度の与那原町指定一般相談事業（障がい児）の受託に続き、今年 4 月からは指定一般相談事業（障がい者〔知的・身体〕）の受託も開始し、与那原町の障害児・者の地域定着支援・地域移行支援等について関係機関と連携を図りながら対応を進めているところです。

2. 事業所運営について

1) 支援体制について

- ・今年度は職業指導員 3 名、世話人 2 名の計 5 名の非常勤職員を採用しました。年度末までに職業指導員 1 名、世話人 2 名が退職。年間を通して就労継続支援 B 型事業の支援員は定着を図ることができましたが、共同生活援助事業（グループホーム）に関しては世話人の定着が図れず、相談支援事業のほうも 1 名欠員状態のまま推移しました。前年度同様、人材確保・育成にまだまだ課題の残る一年でした。

2) 作業科目について（就労継続支援 B 型事業・就労移行支援事業）

- ・公園班（与那原公園除草業務、ゆうゆう公園除草作業、町内 3 公園清掃作業）

- ・収集分別班（与那原町リサイクル資源物収集及び分別業務）
- ・家政 A 班（手芸品・リサイクル商品の受け取り及び売店での販売、花苗販売、無農薬野菜の販売）
- ・家政 B 班（リサイクルゴミの分別作業、室内作業、室内清掃・消毒）
- ・園芸班（販売及び植栽用花苗・鉢物・貸鉢用プランター作り）
- ・出向班（那覇市公園花壇植栽維持管理業務、沖縄教区霊園管理業務、県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理業務）

＊年間を通して施設外就労訓練や作業訓練を、利用者一人ひとりの障がい特性や心身の状態、利用者の意向を聞きながら各班に配置し、個々のペースに即した支援に努めました。

3. 利用者に関する事項について

1) 利用者の入退園の状況について

今年度の退所者が 1 名おり、42 名の利用実績となりました。

2) 利用者在園期間及び年齢について

在園期間 15 年以上の利用者が 74%を占め、40 歳代以上の割合も 79%になっており、加齢による身体機能や体力低下に対しての細やかな支援や提供プログラム等が課題になっています。また、大病を患った利用者も複数名おり、改めて体調管理や健康維持について配慮が必要だと痛感させられました。

3) 生産活動及び工賃支給状況について

家政班では、手芸品の製造と売店にてリサイクル商品や堆肥・土の販売等を行いました。また、園芸班で育てた季節の花苗を提供・販売することができました。2023 年度も利用者の健康管理、安全対策（感染予防）の観点から、引き続き施設外活動や販売等を自粛したため、就労支援事業収入にもマイナスの影響はありましたが、利用者一人当たりの月平均支給額、約 30,000 円に向上することができました（R6 年度の報酬改定により、在籍利用者総数による算定方法から実際の 1 日平均利用者数による算定方法に変更）。

4) 受託業務について

日本キリスト教団沖縄教区の霊園管理業務を始め、公共事業（那覇市公園花壇管理、県議会庁舎内花壇植栽維持管理、与那原町資源ごみ収集分別作業、与那原町内公園 3 ヶ所の除草清掃作業及びトイレ清掃作業）を受託し就労支援収入の大きな柱とすることができました。

4. 職員に関する事項について

1) 退職者 2 名、採用 4 名

2) 県外研修及び県内研修については、オンラインでの参加を中心に、必要に応じて施設外開催の研修にも参加することができました。また、虐待防止委員会・身体拘束等運営適正化委員会の設置と職員全体への虐待防止に関する研修実施の義務化に伴い、施設内において障害者虐待防止に関する研修を開催いたしました。

5. 2023 年度中に実施した主なプログラムについて

2023 年度は徐々に新型コロナウイルス感染の影響は下火になってきましたが、利用者の健康管理や安全対策上、引き続き外部のイベントや行事等への参加は極力控えながら状況を見守りました。反面、園内行事に関しては利用者、職員一丸となって企画検討し、安全対策に十分配慮しながら多くの行事を実施しました。行事の開催により日々就労に勤しんでいる利用者さんたちの慰労やリフレッシュを図ることができました。

6. 共同生活援助事業について

グループホーム「愛さ」は 2014 年 3 月の事業開始から 10 年目となり、「美さ」は 2016 年 10 月の開所から 8 年目を迎えました。利用者一人一人の障がい特性や体調に合わせて、サービス管理責任者及び世話人や夜間支援員を中心に、担当職員や家族との連携のもと、基本的生活習慣の確立や身の回りの整理整頓、洗濯、調理指導など地域の中で自立をめざした支援に取り組んできました。平日は、各事業所で各々の日中活動に取り組み、活動後はグループホームに帰宅。土日祝日は、一時帰省や余暇支援等を利用し外出を楽しんだり、年数を重ねるごとに自由かつ主体的に過ごすことができます。現在、共同生活援助事業は男子棟と女子棟の 2 ホームのみの運営に留まっていますが、喫緊の課題である“利用者の高齢化”や“親なき後の生活”も見据え、グループホームの増設を早急に進めていく必要があります。今後とも利用者及び家族の様々なニーズへの対応をより強化しつつ、地域の中で自立し安定した生活が送れるよう関係機関と連携を図りながら、さらなる事業展開を進めて行きたいと思っております。

7. 相談支援事業所「じょいまーる」について

2020 年 2 月に開所した相談支援事業所「じょいまーる」も事業開始から 4

年目を迎えました。与那原町、南城市、西原町の 3 市町の方々を中心に、障害福祉サービス等利用計画の作成及びモニタリングの実施や一般相談等のサービス提供を行ってきました。今年度、指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業の利用契約者数は全体で 95 件となっており、契約件数が多数重なった月には一時新規の契約を抑えるなど現体制で対応可能な件数の調整を行いました。また、昨年度の与那原町指定一般相談支援事業（障がい児）の受託に加え、同じく指定一般相談支援事業（障がい者〔知的・身体〕）の受託も今年 4 月から開始予定なので、新たな相談員の確保と定着、育成が急務となっております。

8. その他

実習生の受け入れ等について

実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
施設実習	沖縄女子短期大学	4 名	R5.7/10～7/24（10 日間） R5.7/31～8/14（10 日間）

	学校名	人数	期間
就業体験実習	島尻特別支援学校	2 名	R5.6/5～6/16（10 日間） R5.10/23～11/2（10 日間）

	学校名	人数	期間
施設実習	鹿児島女子短期大学	1 名	R5.9/11～9/30（11 日）

今年度の実習もコロナ禍の影響で受け入れに関しては慎重を期する状況でありましたが、安全面への配慮等受け入れ体制を整えて無事実施することができました。

施設の概要

1 事業の目的

障害者総合支援法にいう指定障害福祉サービス事業における、就労継続支援B型事業及び就労移行支援事業及び共同生活援助事業、相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、キリスト教的愛の精神で常に利用者の立場に立った適切な支援の提供を目的とする。

2 施設開所年月日

1988年(昭和63年)4月1日

2009年(平成21年)10月1日・・・指定障害福祉サービス事業へ移行

3 設置主体及び経営主体 社会福祉法人基督教児童福祉会 愛隣園

4 施設の規模及び構造

(1) 敷地面積	4,399.50 m ²
(2) 建物の面積	床面積 746.89 m ²
(3) 建物の構造	鉄筋コンクリート造2階建

5 事業所の名称及び所在地

指定就労継続支援B型及び指定就労移行支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名 称 指定障害福祉サービス事業所 ワークセンター愛の園

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

指定共同生活援助を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名 称 グループホーム 愛さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡南風原町字本部434-11

名 称 グループホーム 美さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡与那原町字東浜86-2フォーレストSK101

指定特定相談支援及び指定障害児相談支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名 称 相談支援事業所 じょいまーる

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

6 提供する指定障害サービスの種類、利用定員及び主たる対象者

事業者が本事業において提供する指定障害福祉サービスの種類、利用定員及び主たる対象者は次のとおりとする。

指定障害福祉サービスの種類	利用定員	主たる対象者
就労継続支援B型事業	34名	知的障害者
就労移行支援事業	6名	知的障害者
共同生活援助事業	9名	知的障害者
特定相談支援事業		知的障害児・者
一般相談支援事業(与那原町)		障害児

7 作業科目

【就労継続支援B型】・【就労移行支援】

支援員 利用者

1	公園及び病院敷地内保清作業	公園班	1	4
2	リサイクル資源収集及び分別作業	収集分別班	4	16
3	手芸品製作及び常設売店販売担当	家政A班	2	7
4	公園トイレ清掃・下請作業	家政B班	1	4
5	販売用苗・鉢物・貸鉢用プランター作り	園芸班	1	6
6	那覇市等花壇植栽維持管理作業	出向班	1	5
計			10	42

名

8 職員体制

	就労移行支援	就労継続支援B型	共同生活援助	計画相談支援
管理者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)
サービス管理責任者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	—
生活支援員	1名	1名	—	—
職業指導員	1名	5名(1名兼務)	—	—
就労支援員	1名	1名(兼務)	—	—
目標工賃達成指導員	—	1名	—	—
事務員	—	1名	—	—
世話人	—	—	5名	—
夜間支援員	—	—	2名	—
相談員	—	—	—	2名(1名兼務)
送迎運転手	—	1名	—	—

9.利用者に関する事項

〔1〕入退園の状況(就労継続支援B型・就労移行)

本年度内における利用者の入退園の状況は下記のとおりである。

	入園	退園
男	0	0
女	0	1
計	0	1

〔2〕在所期間の状況(就労継続支援B型・就労移行)

2024年3月31日現在

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計
男	0	1	3	2	2	18	26
女	0	1	1	0	1	13	16
合計	0	2	4	2	3	31	42
割合	0%	5%	9%	5%	7%	74%	100%

〔3〕月別皆勤者数【平均 25 人】 59.5%

2024年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
合計	29	25	27	28	16	26	27	22	25	20	23	26	25
在籍数	43	43	43	43	42	42	42	42	42	42	42	42	42

〔4〕退園者の状況

2024年3月31日現在

性別	就職	解除	変更	計
男	0	0	0	0
女	0	1	0	1
合計	0	1	0	1

〔5〕利用者の年齢別状況【平均46.2歳】

2024年3月31日現在

性別	20才未満	20～29	30～39	40～49	50以上	計
男	0	1	4	5	16	26
女	0	1	3	3	9	16
計	0	2	7	8	25	42
割合	0%	5%	17%	19%	59%	100%

〔6〕障害種別

(就労継続支援B型・就労移行)

	知的	精神	身体	計
男	24	1	0	25
女	16	1	0	17
計	40	2	0	42

(共同生活援助)

	知的	精神	身体	計
男	5	0	0	5
女	4	0	0	4
計	9	0	0	9

(計画相談)

	知的	精神	身体	障害児	難病	その他	計
男	12	8	5	27	1	1	54
女	16	10	4	17	2	2	51
計	28	18	9	44	3	3	105

(委託相談)

	知的	身体	障害児	その他	計
男	0	1	0	13	14
女	1	0	1	4	7
計	1	1	1	17	20

〔7〕地域別状況

(就労継続支援B型・就労移行)

	那覇市	浦添市	南城市	西原町	南風原町	与那原町	計
男	8	3	6	4	1	4	26
女	6	2	5	1	1	1	16
計	14	5	11	5	2	5	42

(共同生活援助)

	那覇市	南城市	南風原町	西原町	計
男	1	2	1	1	5
女	3	1	0	0	4
計	4	3	1	1	9

(計画相談)

	与那原町	西原町	南城市	その他	計
男	18	12	16	3	49
女	25	12	9	0	46
計	43	24	25	3	95

〔8〕施設外就労訓練

	施設外就労 那覇市与儀 ・天久公園	施設外就労 与那原町 与原公園	施設外就労 与那原町 上の森・ゆう ゆう公園	計
男	3	2	2	7
女	2	2	2	6
計	5	4	4	13

〔9〕苦情解決相談受付

苦情内容	件数	対応
利用者間のトラブル	6件	苦情申し出のあった利用者とその相手の利用者の双方から個別に話を聞き、状況の確認と問題の整理を行った。対応等で改善が必要なケースに関しては苦情を受けた側がしっかりと理解できるよう説明を重ねた。両者の思い違いや誤解からトラブルが生じていたケースについては、それぞれの立場からそれぞれの思いを丁寧に説明し、双方に理解しあえるよう関係改善に努めた。

〔10〕 年度別工賃支給状況

(単位:千円)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
生産活動収入	30,870	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194	29,733	27,925	28,759
工賃支給総額	12,344	12,342	12,545	12,609	12,122	12,420	12,746	12,833	13,404	13,447	12,941
月平均支給額	22	22	24	26	26	26	26	26	26	26	30
平均利用者数	45人	45人	42人	42人	40人	39人	41人	41.9人	42.5人	42.7人	35.3人

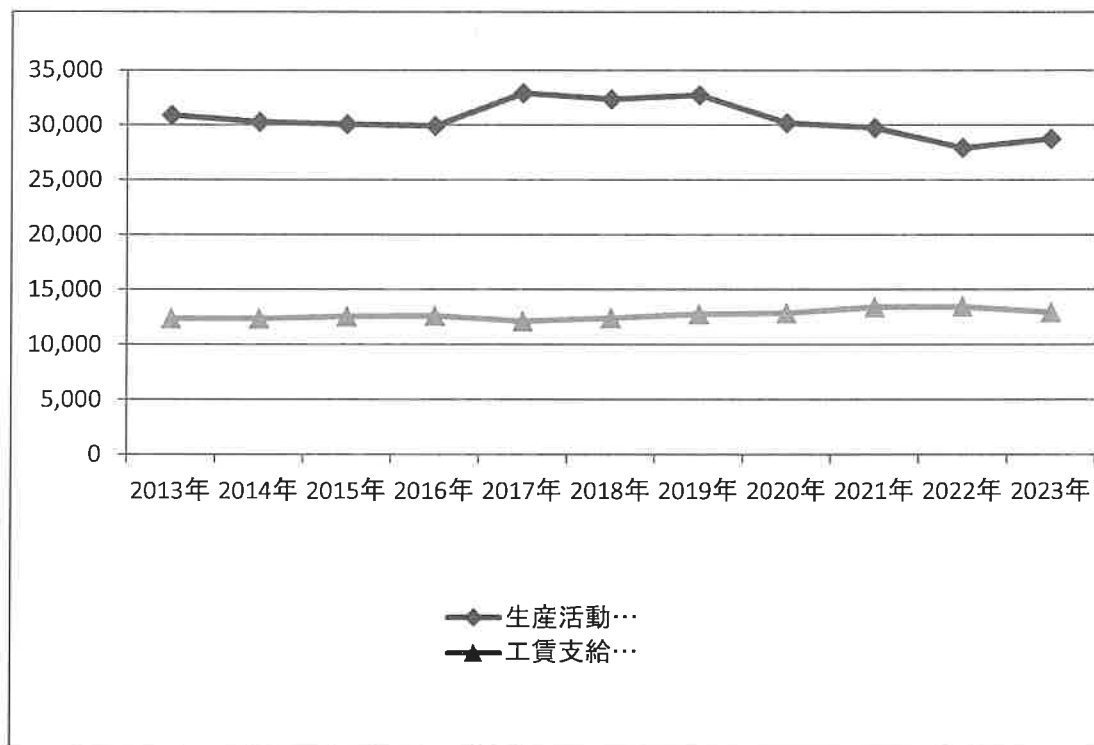
〔11〕生産活動収入

(単位:千円)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
園芸・出向	6,552	6,282	5,574	4,934	7,008	5,678	6,243	6,066	6,067	4,390	5,431
公園・公園管理	4,419	3,163	3,373	3,731	4,609	5,599	3,743	2,983	2,854	2,776	2,756
収集分別 家政・売店	19,899	20,816	21,123	21,246	21,291	21,061	22,749	21,145	20,812	20,758	20,571
計	30,870	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194	29,733	27,924	28,758

※ 生産活動収入 及び 工賃支給総額グラフ

(単位:千円)



〔12〕受託作業契約事業

2024年3月31日現在

	受託先	作業内容	職員	利用者	開始年月日	継続	
1	日本キリスト教団沖縄教区	霊園及び花壇植栽維持管理作業 〔週3回〕	1	5	1988年10月 (S63)	35	年
2	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内の草刈・清掃 〔通年〕	1	4	1989年7月 (H1)	34	年
3	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内公衆トイレ清掃作業〔週3回〕	1	4	1991年8月 (H3)	32	年
4	琉球銀行中部支店9店舗	貸鉢プランター 〔2ヵ月に1度〕	1	6	1993年4月 (H5)	31	年
5	那覇市役所 (公園管理課)	与儀公園他2ヶ所 花壇花卉植栽維持管理作業〔通年〕	1	5	1993年7月 (H5)	30	年
6	与那原中央病院	病院周辺の除草・清掃作業〔週1回〕	1	4	1993年10月 (H5)	30	年
7	与那原町役場 (生活環境安全課)	町内リサイクル資源収集分別作業〔通年〕	4	19	1997年4月 (H9)	27	年
8	沖縄県	県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理 〔随意契約〕 2023. 10/1～2024. 3/31	1	5	2020年6月 (R2)	3	年

〔13〕売店

	作業内容
1	じょいまーる(常設売店) 無農薬野菜、ドリンク類、古着、手芸品、食器等

10. 職員に関する事項

退職	職業指導員	職員1名	世話人	2名
採用	職業指導員	職員3名	世話人	2名

〔県外研修〕

	実施日	研修会名	場所	参加者	備考
	7月12日	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	施設長1名	

〔県内研修〕

	実施日	研修会名	場所	参加者	備考
1	4月18日	沖縄県南部地域ネットワークセミナー	糸満市	職員1名	
2	4月28日	虐待防止研修	施設内	職員12名	
3	5月10日	個別支援計画の重要性と作成のポイント	施設内	職員12名	
4	5月19日	「ひきこもり」の理解と支援段階を知る	オンライン	職員1名	
5	7月14日	市町村における医療的ケア児の支援体制について	オンライン	職員1名	
6	9月27日	アルコール関連問題相談支援者研修会	オンライン	職員1名	
7	9月11日	地域に必要とされる療育のあり方とは	オンライン	職員1名	
8	10月25日	沖縄県社会福祉大会	宜野湾市	職員1名	
9	11月20日	改正障害者差別解消法に係る説明会	オンライン	職員1名	
10	11月28日	障害福祉施設における災害時業務継続計画(BCP)策定推進研修会	オンライン	職員1名	
11	12月5日	「報酬改定に期待すること、そしてその先、私たちが取り組むこと」	那覇市	職員1名	
12	12月19日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	浦添市	職員1名	
13	1月23日	相談支援事業所管理者向け研修～経営の改善に向けて～	豊見城市	職員2名	
14	1月29日	令和5年度安全運転管理者講習	浦添市	職員1名	
15	2月6日	2023年度 会計セミナー	那覇市	職員1名	
16	2月7日	基幹相談新センター設置に向けた研修	オンライン	職員1名	
17	2月8日	本人の希望・ニーズを踏まえた就労支援のためのアセスメントシート	那覇市	職員1名	
18	2月9日	障害児・者の就労に向けた支援計画研修	オンライン	職員1名	
19	2月29日	地域生活定着支援事業研修会 罪に問われた高齢・障害者の支援について知ろう・考えよう	オンライン	職員1名	
20	3月4日	障害者虐待防止・権利擁護研修	那覇市	職員1名	
21	3月6日	地域生活拠点等整備に向けた研修会	オンライン	職員1名	
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					

○ 年間プログラム

4月	春のピクニック
5月	
6月	
7月	海水浴
8月	
9月	避難訓練
10月	
11月	与那原町福祉まつり 健康診断
12月	愛の園・保護者会合同忘年会 クリスマス祝会
1月	新年会 二十歳の祝い
2月	ボーリング大会
3月	内科検診 避難訓練 激励感謝会

○ 月間プログラム

曜日	内容	担当
第1営業日	体重測定・グループホーム連絡会	利用者 サビ管・世話人
第1木曜日	聖書勉強会	利用者・職員
第2水曜日	職員会議	職員
適宜	企画会議	管理者・主任
第4金曜日	支援会議	職員
隔月第3又は第4土曜日	園内行事等	利用者・職員
適宜	保護者会	管理者・保護者

○ 日課プログラム

8:30	～	出勤・着替・職員ミーティング
8:40	～	朝会
8:50	～	作業開始
12:00	～	昼食・休憩
13:00	～	午後の作業
15:00	～	休憩
15:15	～	道具の後片づけ
15:30	～	作業終了・送迎サービス(第1グループ出発)
16:00	～	退勤・送迎サービス(第2グループ出発)
17:00	～	グループホーム美さ送迎

11. 2023年度中に実施した主なプログラム

プログラム		実習生受入・事業所見学他
4/3 (月)	・体重測定 ・辞令交付式	
4/4 (火)	・GH連絡会	
4/5 (水)	・工賃支給日	
4/6 (木)	聖書勉強会	
4/7 (金)	・おしゃれクラブ	
4/12 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
4/27 (木)	・虐待防止委員会	
4/28 (金)	・支援会議	
5/1 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	
5/2 (火)	・工賃支給日	
5/10 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
5/11 (木)	・聖書勉強会	
5/26 (金)	・支援会議	
6/1 (木)	・体重測定 ・GH連絡会 ・聖書勉強会	
6/5 (月)	・工賃支給日	・島尻特別支援学校実習生受け入れ
6/9 (金)	・おしゃれクラブ	
6/14 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
6/16 (金)	・企画会議	・島尻特別支援学校実習生最終日
6/30 (金)	・ボーナス支給(利用者) ・支援会議	
7/3 (月)	・体重測定 ・GH連絡会	
7/5 (水)	・工賃支給日	
7/6 (木)	・聖書勉強会	
7/7 (金)	おしゃれクラブ	
7/8 (土)	・職員会議	
7/10 (月)		・沖縄女子短期大学実習生受け入れ
7/12 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
7/19 (水)	・消防・避難訓練	
7/24 (月)		・沖縄女子短期大学実習生最終日
7/28 (金)	・支援会議	
7/31 (月)		・沖縄女子短期大学実習生受け入れ
8/1 (火)	・体重測定 ・GH連絡会	
8/3 (木)	・聖書勉強会	
8/4 (金)	・おしゃれクラブ ・工賃支給日	
8/9 (水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
8/14 (月)		・鹿児島短期大学実習生オリエンテーション
8/15 (火)		・沖縄女子短期大学実習生最終日
8/25 (金)	・支援会議	
9/1 (金)	・体重測定 ・GH連絡会	
9/5 (火)	・工賃支給日	
9/7 (木)	・聖書勉強会	

9/11	(月)		・鹿児島短期大学実習生受け入れ
9/13	(水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
9/22	(金)	・支援会議	
9/26	(火)		・鹿児島短期大学実習生最終日
10/2	(月)	・体重測定 ・GH連絡会	
10/5	(木)	・聖書勉強会 ・工賃支給日	
10/6	(金)	・おしゃれクラブ	
10/11	(水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
10/23	(月)		・島尻特別支援学校実習生受け入れ
10/27	(金)	・支援会議	
10/21	(水)	・苦情解決委員会	
10/23	(金)	・支援会議	
10/31	(火)	・ハロウィン(お菓子配布)	
11/1	(水)	・体重測定 ・GH連絡会	
11/2	(木)	・聖書勉強会 ・工賃支給日	
11/8	(水)	・職員会議	・与那原中学校職場体験受け入れ
11/10	(金)	・利用者健康診断	
11/15	(水)	・苦情解決委員会	・与那原中学校職場体験受け入れ
11/17	(金)	・支援会議	
12/1	(金)	・体重測定・GH連絡会	
12/2	(土)	・ワークセンター愛の園&保護者会合同忘年会	
12/5	(火)	・工賃支給日	
12/7	(木)	・聖書勉強会	
12/13	(水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
12/20	(水)	・年末大掃除	
12/22	(金)	・おしゃれクラブ ・クリスマス会 ・支援会議	
1/4	(木)	・仕事始め ・体重測定 ・新年会	
1/5	(金)	・おしゃれクラブ ・GH連絡会 ・工賃支給日	
1/13	(土)	・20歳のお祝い	
1/17	(水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
1/26	(金)	・支援会議	
2/1	(月)	・体重測定 ・聖書勉強会 ・GH連絡会	
2/2	(金)	・おしゃれクラブ	
2/5	(月)	・工賃支給日	
2/14	(水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
2/23	(金)	・ボーリング大会	
3/1	(金)	・体重測定 ・2月の支援会議	
3/4	(月)	・GH連絡会	
3/5	(火)	・工賃支給日	
3/7	(木)	・聖書勉強会	
3/8	(金)	・おしゃれクラブ	
3/13	(水)	・苦情解決委員会 ・職員会議	
3/14	(木)	・利用者内科検診	

3/15	(金)	・消防・避難訓練	
3/22	(金)	・虐待防止・身体拘束等運営適正化委員会	・支援会議
3/23	(土)	・激励感謝会	
3/24	(水)	・避難消火訓練	
3/26	(金)	・激励感謝会	・企画会議